

○議長（長澤健君）

続いて通告5番 1番 秋山仁君の一般質問を行います。

1番 秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

それでは、通告に従いまして質問するわけですが、最初に今回の談合事件で前の町長が逮捕されたということは、二元代表制を担う議会人としてチェック機能が不足していたというふうに認識しております。

それでは、通告に従いまして質問させていただきます。大きく分けて2問質問させていただきます。

最初に1問目ですが、青柳32号線についてです。中部横断道の増穂インターを降りまして、国道52号線に交わる道路を起点に32号線があるわけですが、建設中ですが全長が約138メートル、幅員が歩道を入れまして12メートルから17メートル、終点が農道までですが、この道路は新設道路であり、平成29年に測量し、計画されて工事が進んでおりましたが、なかなか完成しません。未着工部分37メートルが特に工事に取り掛かっていませんが、この理由を伺います。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答たします。町道青柳32号線につきましては、国道52号増穂インターチェンジ入口交差点から町道青柳長沢線までの約220メートルを結ぶ道路として事業決定を行い、現在、国道52号から町道青柳長沢線東側の農道までの工事を行っておりますが、その一部が未着工となっております。

この部分につきましては、道路用地の取得が進まなかったことが未着工となっている理由であります。現在未買収の部分の用地交渉を進めておりますので、用地買収が完了した後に速やかに工事に着手したいと考えております。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

再質問ですが、ここの工事の目的としまして、青柳の中心市街地までスムーズに行けるように、また企業誘致を進められるようにということで、計画された経緯があると聞いております。このような新設道路で、こういうのは最初から何年頃に予定だというふうなある程度シミュレーションを描くと思うのですが、いかがですか。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答たします。青柳32号線に限らず、こういった事業につきましては、ある程度の見込みをもって事業計画を立てますが、こういった形の中で用地買収が絡む、特に道路などの用地買収が絡む工事につきましては、やはり地権者の諸事情もありますので、買収が進まなければ事業計画を延長せざるを得ないと言うような場合もございます。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

そうしますと、今回の場合は権利関係ということをちょっと聞いているのですが、計画がある程度詰めて、もうこれで工事にいけるというようなことで進めるということが、一般的には思うのですが、その辺当局の考え方としてお聞きしたいです。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答たします。道路事業につきましては、用地買収を先行し、その後工事を行うことが最も効率的で、早期着工・早期完成につながるものと考えております。しかし、用地買収につきましては、地権者それぞれの諸事情により買収が進まない場合があります。そのような場合において、用地を全て買収した後に工事を着工したのでは、用地買収にご協力いただいた地権者の所有する土地も必要な工事、土留工事になるのですが行われず長期間にわたり道路用地を放置するようなことにもなるため、今回青柳32号線につきましては用地取得ができたところから工事を着工しております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

この32号線ですけれど、説明会を開いたけど反対者はほぼいなかったというようなことも聞いておりますけれど、今後このような工事を計画するとき、やはり新設道路というのは慎重を期してやはりしなければ、こんなに延びるようなこともなかったかと思われるのですけれど、今後の考え方として新設道路をどのようにお考えですか。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えします。道路新設工事につきましては、ただいま秋山議員のおっしゃるとおり、なかなか難しいところがございます。町といたしましては、新設の道路の場合、道路の設計が概ね固まった時点で説明会を開き、地権者を調べ登記簿に記載してある情報を確認することは行っておりますが、今回のようなその土地に関する地権者それぞれの事情まで、実際に用地交渉を行うまでは分からないため、交渉以前に用地買収が困難かどうかの詳細情報について把握することは難しいと考えておりますが、今後の事業進行に努めまして、このような形で事前に調べられることは調べていきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

町の平成30年から令和7年までの第2次総合計画を見てみますと、まちづくりをする上で、計画的な土地利用の推進に沿った考え方ということの中で、今後住宅地や工業用地の拡大を求める声が多くというふうなことが、その町民の間であったというふうに書いてありました。現状のままでも良いという意見もあるわけですが、今後この辺の周辺道路の完成後、周辺道路の整備をどのように考えているか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えします。青柳32号線の周辺の土地利用ということにつきましては、現在具体的な土地利用計画はないと考えております。しかしながら、青柳32号線が完成した場合、増穂インターチェンジへのアクセスがよくなることや、大型車両の通行が可能になるなど、今後この周辺の土地利用につきまして、さまざまな選択肢が広がると考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

このような大きい事業をする上では、やはり将来的なことも考えて周辺道路の、計画するというのが普通ではないかというふうに思われますけれど、再質問ですけれど、この事業については国、県から約95%の補助金がくるというふうに聞いているわけですが、この事業が社会資本整備総合交付金という事業だそうですが、この計画の中をちょっと見てみましたら留意事項が何点かあるわけですが、その中で、事業をする上で早期の効果を求めているというふうにあるのですけれど、町としてこの早期の効果というのをどのよう

にお考えですか。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答たします。先ほど答弁させていただいたとおり、この道路の完成によりまして、増穂インターチェンジへのアクセスが広がる。また、もともと青柳32号線の周辺は農地ということで、道路が全て農道規格ということで狭かったものですから、今回この幅広い道路を造ることによりまして、大型車両の通行も可能になると考えております。

こういった基盤整備を行うことによりまして、工場なりそういった企業の誘致もはかどるのではないかと、そういった計画も立てやすくなるのと考えております。以上です。

○1番議員（秋山仁君）

ぜひ課長が言ったように、そのような計画の中でやはり特性に合わせた土地利用の計画を推進してまちづくりが実感できるようなようにと考えます。

○議長（長澤健君）

質問の途中ですが、暫時休憩します。

休憩 午前11時54分

---

再開 午後 1時

○議長（長澤健君）

休憩を解いて再開します。

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

それでは2問目に入らせていただきます。不法投棄の対策について質問します。

不法投棄とはゴミを適正に処理せず、山林、原野、空き地に捨てる行為を指すと言っています。不法投棄を行った者は、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金であります。本町においても不法投棄が、山間地を中心に8割を占めております。本年の10月にも町道最勝寺砂袋線、殿原公園を砂袋の集落に向かう道なのですけれど、不法投棄がありまして長さ6メートル、幅2.6メートル、高さ1.4メートル、ふとんや畳、またCD等が捨てられまして、こんなにあるかのかというくらいにすごくありました。土木作業建設置き場に捨てられたわけですが、このような不法投棄が後を絶たない現状ですけれど、なかなか減少しておりません。本町の対策を伺います。

○議長（長澤健君）

町民生活課長 松井清美さん。

○町民生活課長（松井清美さん）

ただいまの不法投棄の対策についてのご質問に答弁させていただきます。町内の不法投棄は、山間地だけを特定することはできませんが、町全体では、10年程前から比べると減少しています。近年では、横ばいの状態が続いており、依然として根絶には至っておりません。

町では生活環境担当職員や、県など関係機関で委託している、峡南地域廃棄物対策連絡協議会の職員による、町内パトロール、不法投棄禁止の看板の設置などを行い、不法投棄の未然防止に努めております。

こうした中、関係部署、町民からの情報提供等により、不法投棄を発見した場合は、直ちに発生現場を調査し、不法投棄者が判明した場合は直接処分を求めます。しかし、不法投棄者が判明しない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、土地の所有者に必要な措置をお願いする通知をし、悪質と判断した場合は警察署へも相談をしております。

最終的に、土地の所有者が処分できない場合は、峡南地域廃棄物対策連絡協議会へ協力を依頼するか、町職員が対応しております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

全国的に不法投棄は非常に多い。うちの場合は、10年ほど前から若干減っているということなのですけれど、防犯カメラとか、看板ですね。罰金がいくらいくらか載っていますけれど、それをもう少し増設みたいな考えがあるか伺います。

○議長（長澤健君）

町民生活課長 松井清美さん。

○町民生活課長（松井清美さん）

増設についてのご質問に答弁をさせていただきます。現在も、先ほど答弁させていただいたように、住民の方や関係機関からの情報提供により必要な場所には看板の設置であり、あと防犯カメラに関しましては、不法投棄の為のカメラと言う訳ではございませんので、案件が発生した場合はこれまでも、防災交通課のほうへ相談をさせていただくという形で、今後も進めて参りたいと思っております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

うちの町で一般廃棄物処理基本計画、平成24年から今年の3月までの計画を見ていると、先ほど課長が言うように峡南5町で廃棄物の対策連絡協議会で監視員が1人いるというようなことなのですけれど、隔月でうちの5町を順次回っているようですけれど、うちの町でも19名登録されているということなのですけれど、その人たちが監視なりなんなり、通報体制をとっているということなのですけれど、今回のような町道砂袋線の所に大きく不法投棄されたというふうなことは、やはりその人たちも共有の事項、共有項目として周知されていると思いますけれど、そのような事を徹底するというか、そういうことをしますよね。ちょっとお聞きしたいです。

○議長（長澤健君）

町民生活課長 松井清美さん。

○町民生活課長（松井清美さん）

先ほど議員さんがおっしゃっていただいた案件に関しましても、鯉沢警察署をはじめ、あと峡南廃棄物対策連絡協議会とも現在協議をしております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

先ほどというよりは、うちの町で19名の方が今ボランティアとして登録されていますよね。その人たちにもこういうふうな事は共有として周知されているのですよね。こんなことがありましたよっていうことをですね。

○議長（長澤健君）

町民生活課長 松井清美さん。

○町民生活課長（松井清美さん）

19名と言われる方は、不法投棄の監視協力員として登録をさせていただいている方々です。こちらの方々には、普段の生活の中で不法投棄をより心掛けて見ていただいて、通報を積極的に行っていただきたいということで登録いただいている方ですので、今回のような案件が起こったことによって、そちらの連携ということは特にはやってはおりません。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

特別そういうなことは周知はしていませんよということに理解したのですけれど、九州で大分市でゴミを本当に少なくしているのですけれど、平成14年の7月に監視カメラを設置したそうなんですけれど、不法投棄撲滅のためということで、大きな柱としまして早期発見、早期撤去、再発防止ということ

を3つの柱に取り組んでいるということで、切り札として監視カメラを導入したということなのですから、これは特長としてセンサーが35度以上の物体、人、動物、自動車などを感知した場合に自動的に撮影されるということなのですから、それが携帯電話回線によって基地局である市役所の専用コンピュータに転送されて、夜間赤外線フラッシュを自動的に発光して撮影するということなんですけれど、うちの町でもやはりなかなか不法投棄が減少しないということであれば、こういうふうなことも予算盛りをして、計画的に本当に減らす、ゴミゼロを目指すというようなことが大事かと思われまして、いかがですか。

○議長（長澤健君）

町民生活課長 松井清美さん。

○町民生活課長（松井清美さん）

町全体では10年ほど前から比べると減少をしているという現状の中で、近年は横ばいの状況ということで、完全な根絶には至っておりませんが、今の方法を継続しながら今後も未然防止というところに力を入れながら、不法投棄の対策は進めていきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山仁君。

○1番議員（秋山仁君）

私が言っているのは、課長が今申された根絶には至っていない、根絶をするためにどうするかと言っているのです。だから、こういうふうなことも今ここで導入は難しいかもしれませんが、検討ということも大事ではないかということを行っているわけで、撲滅を言っているんですね。撲滅です。ですから、今の状態でというようなことですが、やはりそういうことを考えていただいて、当局ばかりを言うばかりではなく、やはり町民もですね、不法投棄について関心を持つということは非常に大事なというふうに思われます。いずれにしても、監視カメラ、大分市ここは本当に成果を上げているようです。また、もしでしたら資料等の取り寄せ等も大事なというふうに思われます。以上で終わります。

○議長（長澤健君）

以上で通告5番 1番 秋山仁君の一般質問を終わります。